

# 下田総合庁舎 定例記者懇談会資料

令和6年5月24日

## 賀茂地域局

次回の定例記者懇談会  
令和6年6月25日（火）  
午前9時30分から  
会場：賀茂キャンパス

## 目 次

### ◎重要施策発表

消費生活センターの概要、相談状況について	1
(賀茂広域消費生活センター)	

### ◎令和6年6月の行事予定

行事予定表	17
-------	----

賀茂キャンパス活用プログラム「静岡県立大学 社会人講座」第37回講座	19
(賀茂地域局)	

6月の防災講座	21
(賀茂地域局)	

自動車税(種別割)の納期内納付に係る街頭広報	23
(下田財務事務所)	

健康増進に係るイベントの啓発キャンペーン	24
(賀茂健康福祉センター)	

給食施設従事者研修会の開催	25
(賀茂健康福祉センター)	

宿泊施設一斉監視・指導を実施します	26
(賀茂健康福祉センター)	

農林防災施設をパトロールします	27
(賀茂農林事務所)	

令和6年のテングサ作柄について	29
(水産・海洋技術研究所 伊豆分場)	

賀茂地域のすべての市町で「土砂災害・全国防災訓練」を実施します!	31
(賀茂地域局、下田土木事務所)	

新技術を活用した急傾斜地パトロールを実施します	32
(下田土木事務所)	

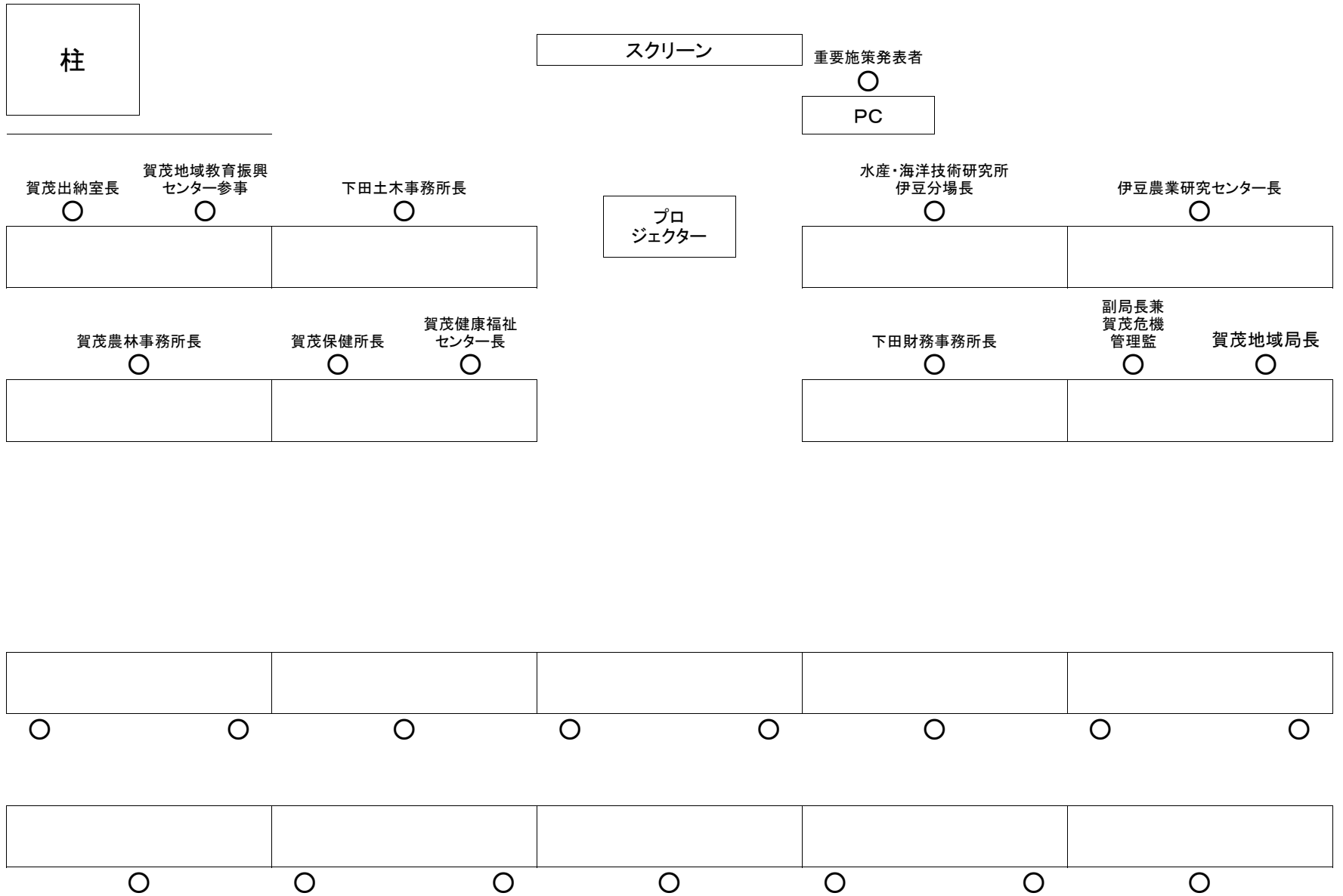
消費者教育出前講座の実施	34
(賀茂広域消費生活センター)	

定例記者懇談会構成員名簿

	役職名	氏名
1	賀茂地域局長	しらとり みちひろ 白鳥 満啓
2	賀茂地域局副局長兼賀茂危機管理監	やまなし よしゆき 山梨 義之
3	伊豆観光局長	いちかわ けん 市川 顯
4	下田財務事務所長	かみや あきよし 神谷 明良
5	賀茂健康福祉センター所長	すずき ふじお 鈴木 藤生
6	賀茂健康福祉センター医監兼賀茂保健所長	ほんま よしゆき 本間 善之
7	賀茂農林事務所長	ふかの ち え こ 深野 智恵子
8	農林技術研究所伊豆農業研究センター長	ば ば ふ じ お 馬場 富二夫
9	水産・海洋技術研究所伊豆分場長	わしやま ひろふみ 鷲山 裕史
10	下田土木事務所長	さとう まさふみ 佐藤 雅史
11	賀茂広域消費生活センター所長	くらしま ひろあき 倉島 浩彰
12	賀茂出納室長	まつなが としの 松永 俊乃
13	賀茂地域教育振興センター参事	つちや かずみ 土屋 一巳
14	賀茂地域局次長兼地域課長	しらつち たつお 白土 達夫
15	賀茂地域局参事兼危機管理課長	すずき かなめ 鈴木 要

# 賀茂地域定例記者懇談会 座席表

(下田総合庁舎別館 2階 賀茂キャンパス)



# 重要施策発表 R6.5.24

賀茂広域消費生活センター



## 本日の内容

- 消費生活センターの概要
- 令和5年度消費生活相談の状況
- 相変わらず多いネット通販トラブル
- 副業・投資に関するトラブル
- 消費者教育・啓発
- 困ったら、0558-24-2299 又は  
188（いやや）に電話！

本日は、「消費生活センターの概要」「令和5年度消費生活相談の状況」「相変わらず多いネット通販トラブル」「副業・投資に関するトラブル」「消費者教育・啓発」などについて説明します。

## 賀茂広域消費生活センターの概要

- ・平成28年4月開所
- ・静岡県と賀茂地域1市5町が共同で設置

### ○ センターの概要

職員	所長、消費生活相談員、県民相談員 計3名
業務内容	消費生活相談、消費者教育・啓発 県民相談(法律・身の上相談)

### ○ 相談件数(年度別推移)

R元	R2	R3	R4	R5	前年度比
233	265	203	284	278	97.9%

平成28年4月に県と6市町共同で賀茂広域消費生活センターを設置。

職員は所長(県職員)、消費生活相談員、県民相談員(いずれも会計年度任用職員)の3名。

業務内容は消費生活相談、消費者教育・啓発、県民相談(法律・身の上相談)  
場所は県下田総合庁舎6階。

センターの開設により、潜在化していた消費者トラブルや相談が掘り起こされて相談件数は増加しており、令和4年度は過去最多の284件、令和5年度は278件となっています。

専門的な立場からの助言やあっせんが可能となり、地域住民の安心につながっています。

## 令和5年度消費生活相談の状況

### ○相談者住所別相談件数

下田市	東伊豆町	河津町	南伊豆町	松崎町	西伊豆町	その他・不明	計
86	54	29	47	22	30	10	278

### ○年代別相談件数

20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明	計
2	17	12	22	43	43	108	31	278
0.8%	6.9%	4.9%	8.9%	17.4%	17.4%	43.7%		100%

○賀茂地域における70歳以上の高齢者からの相談割合は  
全体の4割強！

年代別の相談件数を見ると、70歳以上が全体の4割強を占めており、相変わらず高齢者からの相談が多い状況となっています。



## 消費生活相談の状況～販売購入形態別～

相 談	件数
店舗購入	26
訪問販売	21
通信販売	116
マルチ・マルチまがい	2
電話勧誘販売	39
訪問購入	9

○通信販売が全体の約半数を占める

販売購入形態別の相談件数を見ると通信販売が最も多く、全体の約半数を占めています。

## ネット通販トラブル 主な相談内容

お試しのつもりが  
定期購入だった

解約したくても  
業者と連絡が  
とれない

代金を支払ったが  
商品が届かない

偽物や粗悪品が  
届いた

令和5年度は相変わらずネット通販トラブルに関する相談が多かったです。

内容としては、定期購入に関するものや、商品を注文して代金を支払ったが商品が届かない、といったものが多く、解約や返金を求めて業者に電話しても連絡がとれない、といった相談も寄せられています。

## ネット通販トラブルの傾向

- 購入した商品の種類
  - 美容用品、健康食品が多い
  - その他、衣類、バッグ、食料品、医薬品、玩具など
- 購入した人の年代・性別
  - 20歳代～80歳代 年代は様々
  - 美容用品は60歳以上の女性が多い
  - 健康食品は50歳以上が多い

購入した商品の種類で見ると、美容用品と健康食品の購入においてトラブルとなるケースが多かったです。

トラブルに遭った人の年代・性別は様々ですが、美容用品は60歳以上の女性、健康食品は50歳以上の方からの相談が多かったです。

## ネット通販トラブル防止策

- 価格が極端に値引きされている場合は注意**
  - ・80%オフ、90%オフは偽サイトの可能性
- 販売業者の連絡先が記載されているか確認**
  - ・電話番号の記載がない場合は連絡がとれなくなる可能性がある
- 「初回無料」「お試し価格」は定期購入が条件となっていないか確認**
  - ・解約・返品の内容も確認する

ネット通販トラブルを防止するための注意点は次のとおりです。

- ・価格が80%オフなど極端に値引きされている場合は、偽サイトの可能性がある。
- ・販売業者の連絡先、特に電話番号が記載されているか確認する必要がある。  
電話番号が記載されていない場合は業者と連絡がとれなくなる可能性がある。
- ・「初回無料」「お試し価格」と記載されている場合は定期購入が条件となっていないか、よく確認する必要がある。あわせて解約や返品の内容も確認する必要がある。

## 副業・投資トラブル 主な相談内容

簡単な仕事で多額の  
収入が得られるという  
広告を見て副業を始めた

SNS上で知り合った  
人から勧められて投資  
した

収入が得られない

利益が出ない

返金を求めても応じない、または連絡不能に・・・

副業・投資に関するトラブルの相談が増加傾向にあります。

SNS上で副業サイトの広告を見て申し込んだが収入が得られない、またはSNS上で知り合った人から勧められて投資したが利益が出ないため、おかしいと思って返金を求めても相手方が応じない、または連絡がとれなくなってしまった、という相談が寄せられています。

## 副業・投資トラブルの傾向

- SNS上の広告や勧誘がきっかけ
- 様々な名目で何回も金銭を要求される
- お金がないと言って断ると借金を勧められる



- 1件当たりの支払額が数十万～百万円以上と高額になってしまう
- 儲けが出ないばかりか、多額な借金を抱えてしまう

副業・投資トラブルは、ほとんどがSNS上の広告や勧誘がきっかけとなっており、20代の若者がトラブルに巻き込まれるケースもあります。

一旦申し込むと様々な名目で何回も金銭を要求され、お金がないと言って断ると借金するよう勧められ、消費者金融などで借金してまでお金を支払ってしまいます。

その結果、1件当たりの支払額が10万円～100万円以上と高額となり、儲けがでないばかりか多額な借金を抱えてしまうこととなります。

## 副業・投資トラブル防止策

- 「簡単に稼げる」などの言葉を安易に信じない
  - ・「簡単に稼げる」仕事はありません！
- 借金してまで契約をしない
  - ・後々の生活が苦しくなります
- 何回も金銭を要求されたら要注意！
  - ・詐欺の可能性がります



副業・投資トラブルを防止するための注意点は次のとおりです。

- ・「簡単に稼げる」などの言葉を安易に信じないこと。
- ・借金してまで契約をしない。借金してしまうと生活苦に陥るおそれがある。
- ・副業・投資トラブルでは多くの事例で何回も金銭を要求されて支払ってしまっている。何回も金銭を要求されたら詐欺の可能性があるので注意が必要である。

## 消費者教育・啓発

消費者トラブルを未然に防止するため、  
出前講座や啓発活動を行っています

### <出前講座>

対象者	講座内容
中学生・高校生 専門学校生 保護者	契約の基礎知識 クレジットなどキャッシュレス決済の注意点 若者に多い消費者トラブル など
高齢者 見守り者	高齢者を狙う悪質商法 悪質商法にだまされないための注意点 など

令和5年度：15回開催 649名受講

消費生活センターでは、消費者トラブルを未然に防止するために出前講座や啓発活動を実施しています。

出前講座は、令和5年度15回開催し649名が受講しています。

中学生、高校生等を対象に契約の基礎知識、クレジットなどキャッシュレス決済の注意点、若者に多い消費者トラブルなどについての講座を実施しています。

また、高齢者、見守り者を対象に、高齢者を狙う悪質商法、悪質商法にだまされないための注意点などについての講座を実施しています。



## 消費者教育・啓発

### <街頭キャンペーン>

毎年5月と12月に実施  
5月28日(火)11時～ 東急ストア下田店

### <くらしが変わるかも！>

年3回発行し全戸回覧  
○令和5年度発行実績  
7月「レッカー代の高額請求に注意」  
11月「ネット通販の偽サイトに注意」  
1月「災害に便乗した悪質商法に注意」



啓発活動として5月の消費者月間、12月の消費者被害防止月間に、それぞれ街頭キャンペーンを実施しています。

5月28日に東急ストア下田店で、消費者月間の街頭キャンペーンを実施します。

また、啓発チラシ「くらしが変わるかも！」を年3回発行し全戸回覧しています。

**困った、不安と思ったら  
消費生活相談窓口へご連絡ください**

**消費者ホットライン☎188**

(だまされるの いやや と覚えてください)

- ❖お近くの市町の消費生活相談窓口へお繋ぎします。
- ❖通話料がかかります。
- ❖お住まいの地域の郵便番号の入力が必要です。

**賀茂広域消費生活センター**

**☎0558 - 24 - 2299**

困ったことや不安に思うことがあったら、

賀茂広域消費生活センター 0558-24-2299

または、全国共通消費者ホットライン「188」に電話してください。  
専門の相談員が親切に対応するので、ぜひ早めに相談してほしいです。

## 令和5年度 消費生活相談の概要

(賀茂広域消費生活センター)

## 1 概 要

令和5年度当センターに寄せられた消費生活相談は278件と、前年度の284件から若干減少しました。

年代別では70歳以上が全体の4割以上を占めるなど、相変わらず高齢者からの相談が多い状況となっています。

販売購入形態別では通信販売が最も多く全体の半数を占めています。

## 2 相談件数

## (1) 年度別件数

年 度	R元	R2	R3	R4	R5	前年度比
件 数	233	265	203	284	278	97.9%

## (2) 年代別件数【不明を除く】

(令和5年度)

年代	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	計
件数	2	17	12	22	43	43	108	247
割合	0.8%	6.9%	4.9%	8.9%	17.4%	17.4%	43.7%	100%

## (3) 販売購入形態別件数【不明を除く】

		令和4年度		令和5年度	
		件数	構成比	件数	構成比
店舗購入		30	15.5%	26	12.0%
特殊販売	訪問販売	15	7.8%	21	9.7%
	通信販売	121	62.7%	116	53.7%
	マルチ・マルチまがい	2	1.0%	2	0.9%
	電話勧誘販売	21	11.0%	39	18.1%
	ネガティブ・オプション	0	0.0%	2	0.9%
	訪問購入	2	1.0%	9	4.2%
その他無店舗販売		2	1.0%	1	0.5%
計		193	100.0%	216	100.0%

### 3 令和5年度の特徴

#### ○ネット通販に関する相談件数の増加

年 度	R3	R4	R5	前年度比
定期購入	9	48	48	100.0%
通販トラブル	25	25	36	144.0%

- ・ ネット通販に関する相談件数は相変わらず多く、定期購入に関する相談は令和5年度48件で前年度と同数、「注文した商品が届かない」「偽物が届いた」など、通販トラブルに関する相談は36件と、前年度比で144.0%増加しています。

### 4 被害救済の状況

	令和4年度	令和5年度
件 数	76件	76件
金 額	12,486千円	8,096千円

- ・ 当センターに相談した結果、以下の①又は②に至った件数・金額を記載しています。
  - ①クーリング・オフ等で返金、解約、取消されたもの
  - ②契約締結や支払いをせずに済んだもの

### 5 消費者被害・トラブル防止に向けた取組

#### (1) 消費者教育出前講座

- ・ 令和5年度は15回開催し649名が受講しました。
- ・ 高校生等を対象に契約の基礎知識、若者に多い消費者トラブルについての講座を実施しました。
- ・ 高齢者を対象に消費者被害の現状、悪質商法などにだまされないためのポイントについての講座を実施しました。

#### (2) 啓発活動

- ・ 5月の消費者月間、12月の消費者被害防止月間に街頭キャンペーンを計4カ所で実施しました。
- ・ 啓発チラシ「くらしが変わるカモ！」を年3回発行し全戸回覧しました。

担当： 倉島

連絡先： 0558-24-2206

## 行事予定表（令和6年6月分）

日	曜日	賀茂地域局	下田財務事務所	賀茂健康福祉センター	賀茂農林事務所	下田土木事務所
1	土			賀茂通信（第75号）発行		
2	日					土砂災害・全国防災訓練 9:00～ 各市町
3	月			①健康増進キャンペーン 10:00～ 下田とうきゅう ②アボちゃんサポーター委嘱式 15:30～ 松崎高校	パトロール出発式(庁舎前) 農地災害防止安全パトロール(河津) 治山パトロール(下田)	
4	火	防災講座 10:00-11:00 下田保育所			※ 治山パト予備日(下田)	
5	水			給食施設従事者研修会 14:00～ 下田総合庁舎第8会議室	治山パトロール(南伊豆、松崎) ※ 農地パト予備日(河津)	
6	木	防災講座 9:20-11:10 熱川小学校			※ 治山パト予備日(南伊豆、松崎)	
7	金				農地災害防止安全パトロール(南伊豆) 治山パトロール(西伊豆)	
8	土					
9	日	防災講座(障害者就業・支援センターわ) 11:00-12:00 松崎町生涯学習センター				
10	月	防災講座 9:20-15:00 南中小学校				
11	火	防災講座 10:10-10:55 下田小学校		宿泊施設一斉監視 取材受付 9:30～ 旅館 福助	※ 治山パト予備日(西伊豆)	
12	水	防災講座 10:15-11:55 松崎小学校			治山パトロール(東伊豆、河津) ※農地パト予備日(南伊豆)	
13	木	防災講座 9:05-14:45 賀茂小学校			※ 治山パト予備日(東伊豆、河津)	
14	金	防災講座 11:30-15:20 南伊豆東中学校				
15	土					
16	日					
17	月	防災講座 9:15-11:50 浜崎小学校				
18	火	防災講座 8:30-14:20 仁科小学校				
19	水					急傾斜地パト(下田市) 9:30～ 蓮台寺駅
20	木	防災講座 8:30-14:10 朝日小学校				急傾斜地パト(東伊豆町)
21	金	防災講座 9:30-10:30 仁科認定こども園				
22	土					
23	日					
24	月	防災講座 9:10-11:00 松崎小学校				
25	火	①定例記者懇談会 9:30～ 賀茂キャンパス ②防災講座 9:20-12:00 河津小学校		アボちゃんサポーター委嘱式 15:30～ 下田高校		急傾斜地パト(南伊豆町)
26	水					
27	木	①防災講座 9:20-12:00 河津小学校 ②社会人講座 13:30-15:00				急傾斜地パト(松崎町)
28	金	①防災講座 9:10-11:50 南上小学校 ②防災講座 13:30-15:30 仁科認定こども園				急傾斜地パト(河津町)
29	土					
30	日					

## 行事予定表（令和6年6月分）

日	曜日	農林技術研究所 伊豆農業センター	水産・海洋技術研究所 伊豆分場	賀茂広域 消費生活センター	賀茂地域 教育振興センター	伊豆観光局
1	土					
2	日					
3	月					
4	火					
5	水					
6	木					
7	金					
8	土					
9	日					
10	月					
11	火					
12	水					
13	木					
14	金					
15	土					
16	日					
17	月			消費者教育出前講座 15:20-16:10 下田高校		
18	火					
19	水					
20	木					
21	金					
22	土					
23	日					
24	月					
25	火					
26	水					
27	木					
28	金					
29	土					
30	日					

令和6年5月24日

定例記者懇談会資料

## 賀茂キャンパス活用プログラム「静岡県立大学 社会人講座」第37回講座

(賀茂地域局)

### (要旨)

「静岡大学、静岡県立大学、静岡文化芸術大学と賀茂地域1市5町の相互連携に関する協定」に基づき、賀茂キャンパスにおいて、静岡県立大学による「観光人材育成のための社会人講座」の第37回講座を令和6年6月27日(木)に実施する。

※参加費は無料、令和6年度は年4回開講予定(単発の参加可)

### (概要)

日時	第37回 令和6年6月27日(木) 13:30~15:00 ※令和6年度は年4回開講予定
会場	静岡県下田総合庁舎別館2階 賀茂キャンパス ※別館1階玄関からお入りください。 ※駐車場台数に限りがあるため、公共交通機関の利用・車の乗り合わせに協力願います。
内容	講師：静岡県立大学大学院 ツーリズム研究センター カウクルアムアン アムナー 准教授 演題：「ソフトパワー時代のインバウンド観光促進」
対象	県民
参加費	無料
申込	 QRコードからの申込、もしくは、 静岡県立大学ツーリズム研究センターのメール：trc@u-shizuoka-ken.ac.jp、 又はFAX：054-264-5476に氏名、所属、電話番号を記入の上、お申込みください。 ※定員に達した場合は、参加をお断りすることがあります。
問合せ先	賀茂地域局地域課 電話：0558-24-2202 共催：静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科附属ツーリズム研究センター 賀茂キャンパス活用推進委員会、静岡県賀茂地域局

担当：賀茂地域局地域課

連絡先：0558-24-2202

# 賀茂キャンパス 観光人材育成のための 社会人講座

共催：静岡県立大学ツーリズム研究センター

賀茂キャンパス活用推進委員会、静岡県賀茂地域局

## 第37回

2024年6月27日(木) 13:30～15:00

静岡県下田総合庁舎内賀茂キャンパス(下田市中531-1)

### ソフトパワー時代のインバウンド観光促進

講師：カウクルアムアン アムナー

静岡県立大学大学院ツーリズム研究センター准教授

タイ国出身 首都大学東京博士課程観光科学域修了  
和歌山大学を経て、2019年より静岡県立大学経営情報  
学部准教授  
研究テーマは「日本とタイに繋がる茶観光の展開」



(講座について)

インバウンド観光促進のための戦略として、各観光立国では、その国のファッション、コンテンツ、デザイン、食、伝統・文化などが持つソフトパワーを活用しています。

日本はその魅力と製品・サービスを世界に提供する「クール・ジャパン」の海外展開を国家戦略プロジェクトとして位置づけました。

当講座ではインバウンド観光マーケティングにおいて、ソフトパワーとしての地域魅力をどのように発展させるのかを考えていきます。また、訪日外国人を誘致するための観光戦略について解説します。

働きながら学べる最新の観光情報。無料で参加できます。

メール、FAXもしくはQRコード  
からお申込みください。

静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科附属  
ツーリズム研究センター

Mail: [trc@u-shizuoka-ken.ac.jp](mailto:trc@u-shizuoka-ken.ac.jp)

FAX : 054-264-5476



<お問合せ> 静岡県賀茂地域局 TEL 0558-24-2204



## 定例記者懇談会資料

## 6月の防災講座

(賀茂地域局)

## (概要)

賀茂地域局では、地域防災力を強化するため、自主防災組織、教育機関等と連携し、防災講座を開催する。

## (開催スケジュール)

	実施日時	実施場所	実施対象	内容等
①	6月4日(火) 10:00~11:00	下田保育所 (下田市)	4・5歳児 約20人	防災講話、地震体験
②	6月6日(木) 9:20~11:10	熱川小学校 (東伊豆町)	1・2年生 約40人	防災カルタ、地震体験
③	6月9日(日) 11:00~12:00	障害者就労支援 センター「わ」 (松崎町)	利用者 約20人	防災講話
④	6月10日(月) 9:20~15:00	南中小学校 (南伊豆町)	全校児童 約90人	地震体験、防災ダック、 サバイバルスキルアップ講 座、アプリを活用した防災 講座、ジュニア版避難所運 営ゲーム(HUG)
⑤	6月11日(火) 10:10~10:55	下田小学校 (下田市)	4年生 約40人	災害イメージトレーニング (家庭編)
⑥	6月12日(水) 10:15~11:55	松崎小学校 (松崎町)	4年生 約20人	アプリを活用した防災講 座、地震体験
⑦	6月13日(木) 9:05~14:45	賀茂小学校 (西伊豆町)	全校児童 約70人	地震体験、防災ダック、 サバイバルスキルアップ講 座、アプリを活用した防災講 座、災害イメージトレーニング (学校編)
⑧	6月14日(金) 11:30~15:20	南伊豆東中学校 (南伊豆町)	全校生徒 約50人	防災講話、避難所運営ゲ ーム(HUG)
⑨	6月17日(月) 9:15~11:50	浜崎小学校 (下田市)	全校児童 約80人	風水害講座
⑩	6月18日(火) 8:30~14:20	仁科小学校 (西伊豆町)	全校児童 約60人	地震体験、防災カルタ、 サバイバルスキルアップ講 座、アプリを活用した防災 講座、ジュニア版避難所運 営ゲーム(HUG)

⑪	6月20日(木) 8:30~14:10	朝日小学校 (下田市)	全校児童 約85人	防災カルタ、サバイバルスキルアップ講座、アプリを活用した防災講座、災害時判断ゲーム
⑫	6月21日(金) 9:30~10:30	仁科認定こども園 (西伊豆町)	4・5歳児 約30人	防災ダック、地震体験
⑬	6月24日(月) 9:10~11:00	松崎小学校 (松崎町)	4年生 約20人	災害時判断ゲーム
⑭	6月25日(火) 9:20~12:00	河津小学校 (河津町)	1・5年生 約70人	防災ダック、災害イメージトレーニング(学校編)
⑮	6月27日(月) 9:20~12:00	河津小学校 (河津町)	2・4年生 約70人	防災カルタ、サバイバルスキルアップ講座
⑯	6月28日(火) 9:10~11:50	南上小学校 (南伊豆町)	全校児童 約45人	未定
⑰	6月28日(火) 13:30~15:30	仁科認定こども園 (西伊豆町)	職員約10人	避難所運営ゲーム(HUG)

(お願い)

- ・ 防災講座の取材においては、各学校まで取材を行う旨をご連絡ください。
- ・ 講座の内容については、変更になる場合があります。
- ・ 講座の内容に関するお問合せは下記担当までお願いいたします。

担 当：危機管理課 鈴木  
連絡先：0558-24-2004

## 自動車税(種別割)の納期内納付に係る街頭広報

(下田財務事務所)

### 1 趣旨

下田財務事務所では、管内の自動車約1万8千台の所有者に対し、令和6年度の自動車税(種別割)の定期課税を行い、5月1日に納税通知書を発送しました。

その調定額約6億2千万円は、静岡県が様々な事業を進める上で、年度当初に確保できる貴重な財源となっています。

このため、毎年納期内に納めていただけるよう、広報活動に取り組んでいます。

### 2 概要

管内のスーパーマーケット2箇所において、市町と連携し納期限である5月31日(金)までの納付を呼びかける街頭広報を実施します。

実施日	5月29日(水)	5月30日(木)
開始時刻	午前11時 (11時30分終了見込)	午前11時 (11時30分終了見込)
場所	下田とうきゅう 1階 (下田市東本郷1丁目2-1)	フードストアあおき 西伊豆店 (賀茂郡西伊豆町仁科298-2)
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が法被着用で、自動車税(県税)と軽自動車税(市町村税)の納付方法をまとめた啓発チラシ及びティッシュを配布</li> <li>・県のマスコットキャラクター ふじっぴーも参加</li> </ul>	



昨年度の様子



### 3 担当

下田財務事務所 課税課課税第1班

電話番号 0558-24-2017 (当日の連絡先 090-4796-0210)

## 健康増進に係るイベントの啓発キャンペーン

(賀茂健康福祉センター)

### (要旨)

- ・厚生労働省及び農林水産省並びに県が定めている年間行事（週間・月間）のうち、健康増進等に関するイベントが6月に多いことから、多くの県民が集まる場において、イベントの啓発キャンペーンを実施する。
- ・6月のイベントの名称と実施期間

イベント名称	実施期間
STOP!熱中症 クールワークキャンペーン	5月 1日～9月 30日
歯と口の健康週間	6月 4日～6月 10日
HIV 検査普及週間	6月 1日～6月 7日
禁煙週間	5月 31日～6月 6日
食育月間	6月 1日～6月 30日
健診（検診）受診強化月間	6月 1日～6月 30日

### 1 キャンペーン実施日時及び場所

日時	令和6年6月3日（月） 午前10時～12時
場所	東急ストア下田とうきゅう（下田市東本郷1丁目2-1） 1階 サービスカウンター付近

### 2 内容

- (1) グッズ配布 150部程度  
(リーフレット、ポケットティッシュ、歯ブラシ、食育キーホルダー等)
- (2) ベジチェック®  
(手のひらをセンサーに当てて約30秒で推定野菜摂取量を測定します。)
- (3) ちゃっぴー参加（生きがいと健康づくりイメージキャラクター（静岡県））

### 3 その他

- ・取材いただける場合は、前日までに下記担当あて連絡をお願いします。



写真はイメージです。

担 当：健康増進課 健康増進班 宇津木  
 連絡先：0558-24-2036  
 E-mail：kfkamo-kenzou@pref.shizuoka.lg.jp

## 定例記者懇談会資料

## 給食施設従事者研修会の開催

(賀茂健康福祉センター)

## (目的)

特定多数の方に対して継続的に食事を供給する給食施設は、利用者の健康の保持・増進、生活習慣病の予防及び栄養の改善に大きな影響を及ぼします。

そこで、食中毒が発生しやすい夏の始まる6月に研修会を開催し、給食施設において適切な衛生管理及び栄養管理が実施されるよう給食従事者の資質向上を図ります。

## (概要)

日時	令和6年6月5日(水) 午後2時～4時
会場	静岡県下田総合庁舎2階第8会議室(所在地:下田市中531-1) 又はオンライン(Zoom)
対象	管内給食施設(49施設)給食従事者 (管理栄養士、栄養士、調理師、調理員等)
内容	1 講義「給食施設における衛生管理について」(仮題) 講師 静岡県東部保健所 食品衛生監視専門班 職員 2 講義「令和5年度給食施設実態調査の結果について」(仮題) 講師 静岡県熱海保健所 医療健康課 職員 3 情報交換会(会場参加者のみ)
主催	静岡県(賀茂保健所・熱海保健所)・静岡県給食協会熱海伊東支部

担当:健康増進課 栗崎

連絡先:0558-24-2037

## 宿泊施設一斉監視・指導を実施します

(賀茂健康福祉センター)

夏休みの行楽シーズンに向けて、旅館及び簡易宿所における食品の衛生的な取扱いについての一斉監視指導を実施し、食中毒の発生防止及び食品衛生意識の向上を図るとともに、食品衛生法の改正により、原則として全ての食品事業者が行うことが制度化された「HACCP(※)に沿った衛生管理」の実施状況を確認し、必要な事業者への指導を行います。

※ HACCP(Hazard Analysis and Critical Control Point):食品事業者自ら食中毒等危害要因の分析、除去・低減を行い食品の安全確保を図る衛生管理手法

### 記

#### 1 概要

実施期間	令和6年5月28日(火)～7月上旬
実施地域	下田市・東伊豆町・松崎町・西伊豆町
対象業種・施設(施設数)	旅館、簡易宿所等の調理室(約250施設)
監視・指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅館、簡易宿所等での食品の衛生的な取扱い状況</li> <li>・HACCPに沿った衛生管理の実施状況</li> </ul>
実施担当者	静岡県賀茂保健所 衛生薬務課(食品衛生監視員) 6人 東部保健所 食品衛生監視専門班(食品衛生監視員) 2人

※監視・指導の際に、パンフレット等を配付して食中毒防の発生防止の徹底を要請します。

#### 2 取材について

取材を希望される報道機関につきましては、次により対応をお願いします。

- ・集合日時 6月11日(火)午前9時30分
- ・集合場所 施設名「旅館 福助」(所在地 下田市白浜2745-2)

担当 衛生薬務課  
連絡先 0558-24-2054

令和6年5月24日

定例記者懇談会資料

## 農林防災施設をパトロールします

(賀茂農林事務所)

(目的)

近年頻発する集中豪雨や台風等に備え、農林防災施設の機能点検等を実施し、災害の未然防止を図ります。

(概要)

梅雨期を控え、農林防災施設の点検とその周辺状況の調査を行う「農地災害防止安全パトロール」及び「治山パトロール」(以下、「パトロール」という)を下記のとおり実施します。

初日である6月3日(月)には、下記により出発式を行います。

### 記

#### 1 出発式

- (1) 日時 令和6年6月3日(月) 午前8時45分から午前9時まで
- (2) 場所 県下田総合庁舎正面玄関
- (3) 出席者 賀茂農林事務所長、パトロール実施者等

#### 2 パトロール

- (1) 期間 令和6年6月3日(月)から13日(木)まで  
※実施日は、別紙1のとおり
- (2) 場所 賀茂農林事務所管内各所(下田市及び賀茂郡5町内)
- (3) 実施者 賀茂農林事務所職員、関係市町職員
- (4) 内容
  - ア 人家、公共施設等に近接する農林防災施設の異常の有無の確認
  - イ 農地・山地・海岸の異常の有無の確認

(農地災害防止安全パトロール)	担当	農村計画課農村計画班
	連絡先	0558-24-2080
(治山パトロール)	担当	治山課治山班
	連絡先	0558-24-2084

## 1 パトロール日程

## (1) 農地災害防止安全パトロール（農地地すべり防止施設等を点検）

実施日	市町名	地区名	実施内容
6月3日（月） ※6月5日（水）	河津町	（午前）見高	施設点検
6月7日（金） ※6月12日（水）	南伊豆町	（午前）伊浜 （午後）吉田	施設点検

※予備日

## (2) 治山パトロール（治山施設及び施設周辺の状況等を点検）

実施日	市町名	地区名	実施内容
6月3日（月） ※6月4日（火）	下田市（午前）	加増野・河内 ほか	施設・保安林点検
6月5日（水） ※6月6日（木）	南伊豆町（午前）	加納 ほか	施設・保安林点検
	松崎町（午後）	岩科北側・ 岩地 ほか	
6月7日（金） ※6月11日（火）	西伊豆町（午前）	中・仁科 ほか	施設・保安林点検
6月12日（水） ※6月13日（木）	東伊豆町（午前）	片瀬 ほか	施設・保安林点検
	河津町（午後）	川津筏場・ 沢田 ほか	施設・保安林点検

※予備日

## 2 パトロール実施時間

午前9時から午後4時30分まで（集合時間・場所等は後日調整します。）

## 3 その他

実施日が雨天の場合は、予備日に延期します。



## 定例記者懇談会資料

### 令和6年のテングサ作柄について

(水産・海洋技術研究所 伊豆分場)

水産・海洋技術研究所伊豆分場は、令和6年のテングサ作柄の予察をするために3月上旬から4月下旬にかけてテングサの生育状況を調査しました。

(概要)

#### 1 テングサの生産状況

令和5年のテングサ生産量は全国で268t、その内静岡県は46tで全国3位<sup>※1</sup>でした。県内のテングサ漁業は伊豆地域のみで行われており、主産地は西伊豆町仁科、伊豆市土肥<sup>※2</sup>等です。

伊豆地域のテングサ漁業は、従事者の高齢化による労働力不足、漁業利用低下による漁場の荒廃（雑藻の増加）、黒潮大蛇行等の影響により減産傾向が継続しています。

※1 令和5年生産量（県別）：千葉 104t 愛媛 50t 静岡 46t（全国 268t）

※2 令和5年生産量（県内）：仁科 11t 土肥（小下田）7t 土肥（八木沢）7t

#### 2 作柄予察

テングサ生育状況調査は、伊豆半島沿岸、東伊豆町稲取から西伊豆町田子にかけて8地区、26地点において潜水作業で行いました。テングサの着生面積、密度を目視で観察し、漁場内に置いた1㎡の枠内のテングサを刈り取り(写真)、重量と藻長を測定しました。

調査結果から、令和6年のテングサの生産量は、地区により増減が見られるものの、県全体としてはやや減少～前年並みと予察しました。

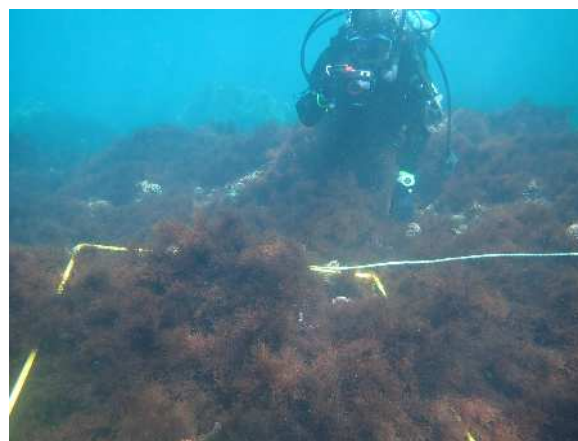


写真 テングサ作柄調査の様子

担当：水産・海洋技術研究所伊豆分場  
角田 充弘

連絡先：0558-22-0835

# しらはま 白浜

120号



令和6年5月 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場ニュース

## アントクメ養殖試験・生長が確認できました

西伊豆の漁業者が2月29日から田子漁港内においてアントクメの養殖試験に取り組んでいます。昨年の取り組みでは沖出し後に種苗が魚に食べられてしまったので、今回は円柱状に作成した防除ネット（写真）を用いて食害対策を徹底しました。また、設置する水深による生長の違いを調べるため、種苗を水深約2mと約4mに設置しました。

4月4日の観察では、魚による食害の痕は確認されず、順調にアントクメが生長している様子が観察されました。また、水深4mに設置したアントクメの方が生長率が高い傾向にありました。4月26日の観察では、水深4mに設置したアントクメの生長がより顕著に観察されました。

養殖試験は5月中旬まで実施する予定です。



↑食害防除ネットと種苗



生長したアントクメ

## 大熱海ヒラメ種苗中間育成始まる

大熱海漁協（熱海、上多賀）では、4月19日に温水利用研究センター産のヒラメ稚魚を受入れ、漁業者による中間育成を開始しました。中間育成とは、稚魚が放流に適した大きさになるまで、水槽や生簀の中で人の手によって育成することです。今年は、熱海で1万3千尾、上多賀で7千尾のヒラメを受入れ、その平均全長は27.7mmでした。今後、稚魚が約60mm程度に成長するまで水槽内で育成し、5月の中旬から下旬に放流が行われる予定です。



↑活魚トラックから稚魚を取り出す様子



↑熱海のヒラメ育成水槽

## 地元の浜で観察会～白浜小学校～

4月25日、身近な海に親しもうと、白浜小学校の全校児童が地元板戸の浜で磯観察を行いました。児童達は、地区の漁業者から漁業権について、伊豆分場職員から採取時のルールや身近な海にいる危険な生物について説明を受けた後、岩陰やタイドプールにいる様々な生き物を触ったり観察したりしました。

こういった体験の積み重ねを通じ、成長し大人になる過程で、伊豆の海や漁業に興味を持ってもらえることを願っています。



↑児童に磯の生き物を説明する漁業者と分場職員

**5月の予定** ●イセエビ測定●伊豆地域栽培推進協議会（7日伊東）●伊豆いとう地魚王国総会（13日伊東）●下田高校研修（17日）●県定置網漁業協会総会（24日伊東）●キンメダイ漁場環境予備調査（27日駿河丸）●技術連絡協議会（29日浜名湖）●東部漁業士会役員会（31日稲取）

連絡先：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：[suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp) ホームページ：<https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu>

当場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。



## 賀茂地域の全市町で「土砂災害・全国防災訓練」を一斉実施します！



### ～下田土木事務所管内における訓練を紹介～

(賀茂地域局、下田土木事務所)

#### 1 要旨

近年、台風や大雨等の増加により土砂災害が頻発化・激甚化しています。全国ベースでは、昭和57年から平成4年までの土砂災害平均発生件数が852件/年であったのに対し、平成25年から令和4年における土砂災害平均発生件数は1,446件/年と約1.7倍に増加しています。また、静岡県内においても、令和4年度は例年の5倍以上の211件の土砂災害が発生し、人命と財産の保全が喫緊の課題となっています。

そこで、ソフト対策の全国的取組として「土砂災害・全国防災訓練」を実施し、土砂災害警戒区域等における住民参加の実践的な訓練を賀茂地域の全市町で一斉に行うことにより、土砂災害に対する避難体制の強化を図るとともに、地域が一体となって自助・共助による自主防災意識の向上を図るものです。

#### 2 実施日

令和6年6月2日（日）午前9時～（2～3時間で終了予定）

#### 3 実施場所

下田市	下大沢区集会場（大沢区）
東伊豆町	片瀬地区防災センター（片瀬区）
河津町	川横婦人若者等活動促進施設（川横区）
南伊豆町	調整中
松崎町	江奈2区公民館（江奈区）
西伊豆町	太田子コミュニティーセンター（田子区）

#### 4 実施内容

- ① 区役員及び住民が一体となった実働避難訓練（地域内の声かけによる避難）
- ② 県職員による土砂災害防止講習会（手作りハザードマップ作成訓練等）

#### 5 参加者

県下田土木事務所職員、関係市町職員、各区役員、各区住民等

#### 6 その他

取材については、事前（5月31日迄を目安）に連絡いただければ個別に対応します。

なお、当日でも取材対応は行います。

担 当： 下田土木事務所 企画検査課企画班

連絡先： 0558-24-2112

## 新技術を活用した急傾斜地パトロールを実施します！

(下田土木事務所)

### (要旨)

「土砂災害防止月間」(6月1日～6月30日)及び「がけ崩れ防災週間」(6月1日～6月7日)に併せて、「急傾斜地パトロール」を関係市町職員等とともに実施します。  
今年度は、新技術「LiDAR(ライダー)」を活用し、試行的なパトロールを行います。

### (目的)

「急傾斜地崩壊危険区域」について、本格的な雨期を迎える前に、区域内に設置した崩壊防止施設を点検し、人命・財産の安全確保を図ります。また、センサーを搭載したモバイル端末「LiDAR(ライダー)」を活用し、パトロールを省力化・高度化し、今後、激甚化が予想される豪雨災害に備えます！

### (概要)

#### 1 実施日

下田市	東伊豆町	南伊豆町	松崎町	河津町	西伊豆町
6/19(水)	6/20(木)	6/25(火)、7/2(火)	6/27(木)	6/28(金)	7/4(木)

(悪天候等の場合は、日程変更あり)

#### 2 実施内容

主に次の事項について調査を行う。

(管内6市町 75箇所)

- ①崩壊防止施設の異常の有無
- ②がけ面の崩壊、クラックの有無
- ③水路の埋塞等の状況変化の調査
- ④住民からの情報聴取及び制限行為等の調査

#### 3 参加者

県下田土木事務所職員、地元警察署員、関係市町職員、地元区長等

#### 4 その他

取材対応については、以下のとおり原則パトロール初日<sup>\*</sup>に行う。

日 時：6月19日(水) 9時30分

集合場所：「蓮台寺駅」(伊豆急行線)

当日の流れ：午前9時30分：現場へ誘導後、参加者への説明

午前10時10分：パトロール実施

<sup>\*</sup>その他の日程についても、事前(実施日から一週間前までを目安)に連絡があれば個別に対応します。

担 当：維持管理課管理班 松本  
連絡先：0558-24-2108

## デジタル技術を活用した災害査定の実例

○「災害復旧事業におけるデジタル技術活用の手引き（素案）」に基づき、実際の災害査定現場において効果的なデジタル技術を活用。

### 【取組事例】静岡県（静岡県島田市）

- 査定方式：机上査定
- 災害種別：河川
- デジタル技術の活用内容：
  - ・LiDAR付タブレット端末を用いた被災構造物の数量諸元の確認
  - ・LiDAR付タブレット端末を用いた現況地形の図面作成



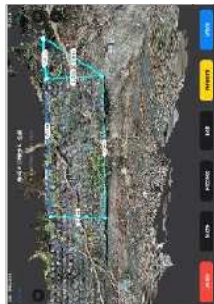
職員によるタブレット端末での点群計測  
(計測時間：5～10分程度)



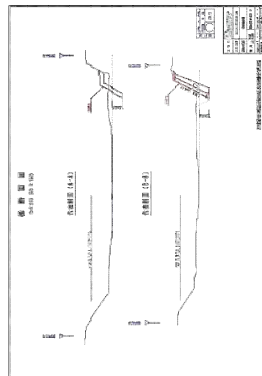
被災構造物の全量をスキャン



河川を横断方向にスキャン



取得し数量等をデータ上で確認



現況地形を図化し、これをもとに標準用の設計図面を作成  
(簡素化ルールに従い、代表断面を作成)

**現地計測に必要な人員・時間の省力化による査定準備の効率化**

## 消費者教育出前講座の実施

(賀茂広域消費生活センター)

## (概要)

令和4年4月から成年年齢が引き下げられたことに伴い、18歳になると親の同意がなくても契約ができるようになる一方で、未成年者取消権が適用されなくなるため、悪質事業者に狙われやすくなり、様々な消費者トラブルに巻き込まれることが懸念されます。

つきましては、高校生で成人となる生徒の消費者被害を防止するため、以下のとおり県から講師を派遣して出前講座を実施します。

## (出前講座の予定)

日 時	場 所	対 象
令和6年5月21日(火) 13:10~13:30	県立下田高校	保護者
令和6年6月17日(月) 15:20~16:10	県立下田高校(全日制)	2年生
令和6年9月25日(水) 17:40~19:00	県立下田高校(定時制)	1~4年生
令和7年1月16日(木) 11:00~12:00	県立伊豆の国特別支援学校 伊豆松崎分校	2年生
令和7年3月17日(月) 8:45~9:35	県立松崎高校	1~2年生

## (内容)

- 成年を迎えるにあたって必要な消費生活の基礎知識
  - ・ 契約やお金の基礎知識
  - ・ 若者が狙われやすい商法
  - ・ ネットショッピングの注意点
  - ・ 暮らしとお金
  - ・ 消費生活センターの紹介 など

担当： 賀茂広域消費生活センター 倉島  
連絡先： 0558-24-2206